

第27回

文学館演習

—日本近代文学資料の探索と処理—

2025年度募集要項・スケジュール表

日時

2025年8月26日（火）～30日（土）の5日間 各日 午前10：00～午後5：15（但し初日は変則的な時間割となります。）

受講料

※単位とする場合、1日4コマ(1コマ90分)計20コマ(30時間)・2単位。評価はレポート、実習などによります。

定員

20, 900円（当館維持会会員・友の会会員は18, 800円）

申込方法

30名

(1) 博物館実習としない方（抽選制。2025年5月1日～3日まで受付ます。）

ホームページの申込フォームよりお申してください。なお、日本近代文学等の単位とする方は、その単位名を明記してください。

受入れの可否は5月5日以降メールでお知らせいたします。

(2) 博物館実習とする方（抽選制。2025年4月1日～15日まで受付ます。）

2025年4月1日～15日までに（必着）にホームページの申込フォームよりお申してください。

受入れの可否は4月16日以降メールでお知らせいたします。

ご注意

申込後に自動返信メールが届かない場合は申込ができておりません。その場合はお電話でお問い合わせください。

問合せ先

Tel. 03（3468）－4181 〒153-0041 目黒区駒場4－3－55 日本近代文学館「文学館演習」係

内容・講師

これまで、学習院大学大学院、埼玉大学大学院、成城大学大学院、日本女子大学大学院、梅光学院大学大学院、福岡女子大学大学院、佛教大学大学院、武蔵大学大学院…等で単位認定を受けています

	1 時限 (10:00～11:30)	2 時限 (11:45～13:15)	3 時限 (14:00～15:30)	4 時限 (15:45～17:15)
26 日 (火)	<総論> (1)オリエンテーション ★10:00~10:40 (2)近代文学館とは ★10:50~11:50 (日本近代文学館理事長)	<総論>★12:00～13:10 日本近代文学館の所蔵資料とその意義 (日本近代文学館専務理事)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (1)図書 石田仁志(東洋大学元教授)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (2)自筆資料 渡部麻実(日本女子大学教授)
27 日 (水)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (3)雑誌 大原祐治(実践女子大学教授)	<資料の収集と活用> 図書・雑誌の利用①(実習) 青木裕里香・細谷綾子(事務局)	<資料の収集と活用> 図書・雑誌の利用②(実習) 青木裕里香・細谷綾子(事務局)	<文学の周辺(1)> 文学と映画(講義・演習) 吉田司雄(近代文学研究者)
28 日 (木)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (4)新聞 山田俊治(横浜市立大学名誉教授)	<文学をめぐる問題> 海外における日本文学の研究(講義・演習) 和田博文(東洋大学名誉教授)	<資料の保存・公開・展観> 資料の公開・展示(実習) 宮川朔・石川賢(事務局)	<文学をめぐる問題> 文学と大衆(講義・演習) 山岸郁子(日本大学教授)
29 日 (金)	<資料の保存・公開・展観> 資料の公開・図録(実習) 土井雅也(事務局)	<資料の収集と活用> 挿絵・写真資料の調査・保存(実習) 吉原洋一(事務局)	<資料の保存・公開・展観> 資料の保存・修理(実習) 宮川朔・細谷綾子(事務局)	<文学の周辺(1)> 出版メディアの戦略・検閲(講義・演習) 五味渕典嗣(早稲田大学教授)
30 日 (土)	<資料の収集と活用> 肉筆資料の解説(実習) 加藤桂子(事務局)	<文学の周辺(2)> 挿絵・口絵と文学(講義・演習) 出口智之(東京大学准教授)	<文学の周辺(2)> 文学と美術・音楽・舞踊(講義・演習) 坪井秀人(早稲田大学教授)	<総括> 日本近代文学館に対する要望(質疑応答) 理事、事務局